

協 議 会 決 議 (案)

JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅の区間をつなぐ新空港線は、大田区が 30 年来取り組んできた重要な事業である。

現在、その区間の 800m が繋がっていないことにより、一旦駅を降りて徒歩やバスなどに頼らざるを得ず、区民の日常生活や大きな荷物を抱えた空港利用者などにとって大変不便な状態となっている。

新空港線が整備されることにより、通勤、通学、買物など日常生活が格段に便利になるのはもちろん、蒲田駅や東急多摩川線沿線など鉄道と駅周辺のまちづくりを合わせて行うことによって、まちの賑わいが促進され、大田区全体の活性化にもつながっていくものと考ええる。

東急東横線や東京メトロ副都心線などと相互直通運転を行うことで、東京圏西部地域への利便性は飛躍的に向上するとともに、地震や事故の際に極めて重要な代替路線となるなど、今後の東京の発展にとって重要な役割を果たす路線である。

また新空港線は、国の 18 号答申の中で 2015 年までに整備着手することが適当であると位置づけられている。さらに今年度は、15 年に 1 度の新たな答申が出される年で、現在、国の交通政策審議会において審議が行われており、最終的な答申は年度末に予定されている。

東京オリンピック・パラリンピックを控え、訪日外国人が飛躍的に増えている中で、今後も、羽田空港の航空需要が更に増加していくのは明らかである。空港アクセスを改善し、羽田空港から蒲田、新宿、渋谷、池袋などが鉄道でつながることにより、沿線の活性化と共に、大田区全体の発展にも大きく寄与するものとなる。

このように大田区はもちろんのこと、東京圏全体から見ても必要となる新空港線を一日も早く実現させるために、大田区が進める新空港線整備事業を、大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会として支援することを決議する。

平成 27 年 11 月 18 日

大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会

大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会

会 長	(大田区自治会連合会 会長 (池上地区自治会連合会会長))	樋口 幸雄
副会長	(大田区自治会連合会 副会長 (久が原地区自治会連合会会長))	小原 洪一
副会長	(大田区自治会連合会 副会長 (蒲田東地区自治会連合会会長))	小山 君子
副会長	(東京商工会議所 大田支部 会長)	浅野 健
副会長	(一般社団法人 大田工業連合会 会長)	舟久保 利明
副会長	(大田区商店街連合会 会長)	平澤 久男
副会長	(大田区立中学校 P T A 連合協議会 会長)	伴 歩
副会長	(公益社団法人 東京青年会議所 大田区委員会 委員長)	齊藤 誠
理 事	(大森東地区 自治会連合会 会長)	中村 博
理 事	(大森西地区 自治会連合会 会長)	伊東 祐孝
理 事	(入新井地区 自治会連合会 会長)	森竹 資陽
理 事	(馬込地区 自治会連合会 会長)	菅崎 貢
理 事	(新井宿地区 自治会連合会 会長)	渡部 作次
理 事	(嶺町地区 自治会連合会 会長)	長久保 弘
理 事	(田園調布地区 自治会連合会 会長)	千葉 謙吾
理 事	(鵜の木地区 町会連合会 会長)	大芦 重雄
理 事	(雪谷地区 自治会連合会 会長)	永久保 孝治
理 事	(千束地区 自治会連合会 会長)	青木 輝代
理 事	(糀谷地区 自治会連合会 会長)	吉澤 満
理 事	(羽田地区 町会連合会 会長)	伊藤 武夫
理 事	(六郷地区 自治会連合会 会長)	中島 寿美
理 事	(矢口地区 自治会連合会 会長)	吉田 貞夫
理 事	(蒲田西地区 自治会連合会 会長)	藏方 庸光
理 事	(東京商工会議所 大田支部 事務局長)	矢口 和彦
理 事	(一般社団法人 大田工業連合会 副会長)	杉崎 武春
理 事	(大田区商店街連合会 副会長)	宮澤 信一
理 事	(公益社団法人 東京青年会議所 大田区委員会 総括幹事)	塩澤 正徳